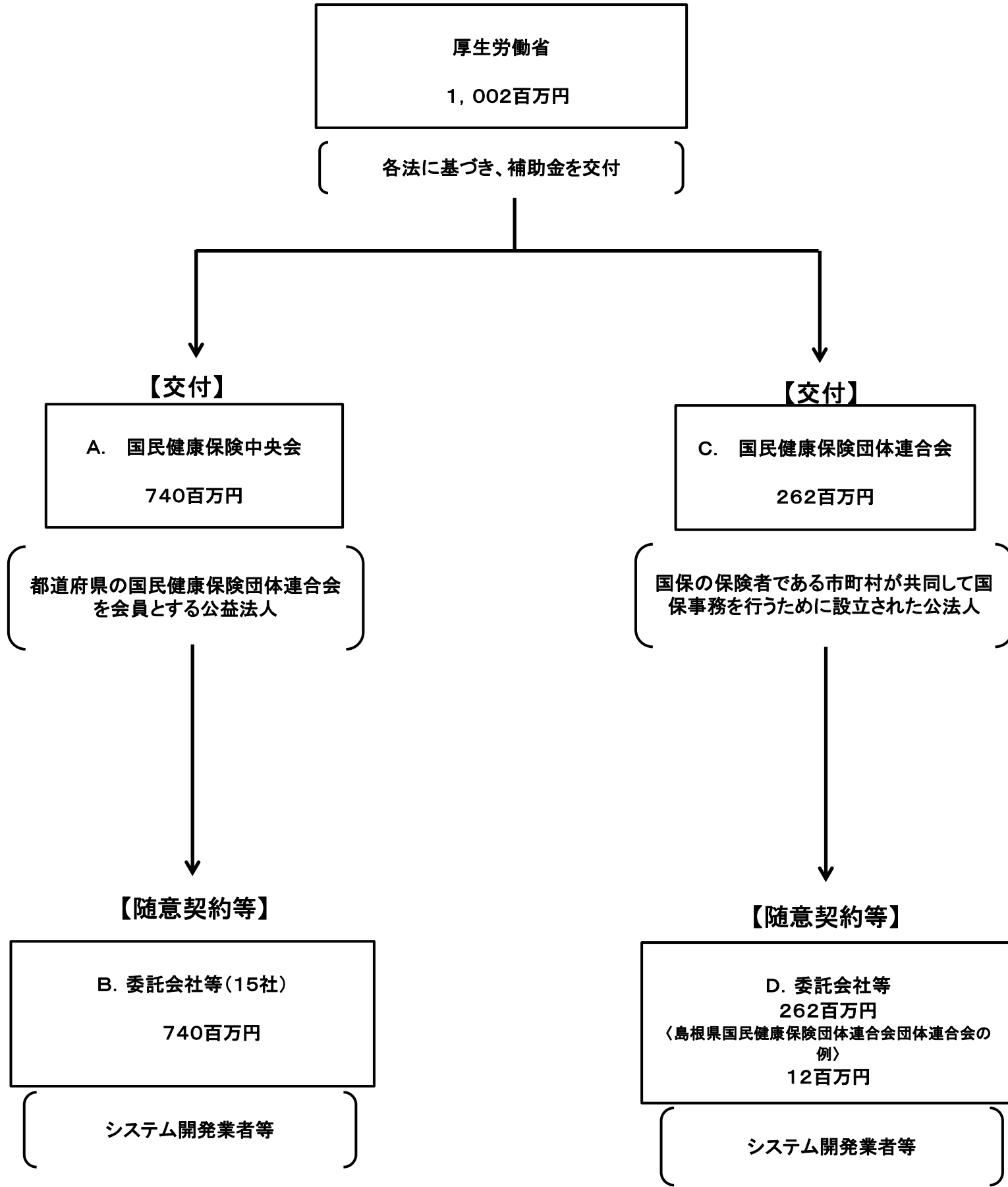


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	後期高齢者医療制度関係業務事業費補助金		担当部局庁	保険局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	高齢者医療課	横幕 章人		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者の医療の確保に関する法律第102条、155条		関係する計画、通知等	平成25年度後期高齢者医療制度関係業務事業実施要綱 「平成25年度後期高齢者医療制度関係業務事業の実施について」 (平成25年5月15日保発0515第5号保険局長通知)等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	後期高齢者医療広域連合(以下「広域連合」という。)及び市町村が行う後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するために、国民健康保険団体連合会(以下「国保連合会」という。)及び国民健康保険中央会(以下「国保中央会」という。)が行う事業に要する経費の一部について、補助するものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国保連合会が実施する事業 1. 第三者求償事業 2. 特別徴収情報經由事務関連事業 3. レセプト電算処理システム推進事業 ②国保中央会が実施する事業 1. レセプト電算処理システム推進事業 2. 後期高齢者医療事業の効率化に関する事業 ※詳細は別添参照						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	1,718	1,376	1,137	1,030	1,154
		補正予算					
		繰越し等					
	計	1,718	1,376	1,137	1,030	1,154	
	執行額	1,718	1,376	1,002			
執行率(%)	100	100	88.1				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	①-1 第三者求償事業 求償請求を適切に行い、補償決定された金額	成果実績	①-1 (百万円)	10,174	11,687	集計中	—
	①-2 特別徴収情報經由事務 データ授受を行った特別徴収情報經由件数		①-2 經由件数 (百万件)	480	478	514	—
	①-3、②-1 レセプト電算処理システム推進事業 レセプト電算処理し、審査支払した件数		①-3、②-1 支払件数 (百万件)	395	413	集計中	—
	②-2 高齢者医療制度事業の効率化 期日までにリリースされたシステム開発項目数		システム開発項目数	31	4	5	—
※受付けたレセプトデータを審査支払した結果を実績としている等のため、目標を定量的に示すことは困難		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①国保連合会への国庫補助額	活動実績 (当初見込み)	補助額 (百万円)	486	271 (272)	集計中 (262)	— (—)
	②国保中央会への国庫補助額			1,226	1,103 (1,104)	集計中 (740)	— (—)
単当たりコスト	審査支払1件あたり補助額 1.3(円/件)		算出根拠	審査1件あたり補助額 (国庫補助額 ÷ 審査支払件数) 527,918千円 ÷ 413 百万件 = 1.3円 ※平成23年度実績			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	【国保連】			事業実施にあたっての更なるコスト削減の観点から人件費等を見直したことによる削減。			
	第三者求償事務 (報酬・賃金等)	30	22				
	特別徴収經由事務 (給料・職員手当・需用費・役務費・委託料等)	171	152				
	レセプト処理推進 (委託料等)	92	61	事業実施にあたっての更なるコスト削減の観点から人件費等を見直したことによる削減。			
	【国保中央会】						
	レセプト処理推進 (委託料等)	191	191				
高齢者医療制度事業の効率化 (給料・職員手当・需用費・役務費・委託料等)	546	728	「新しい日本のための優先課題推進枠」227				
計	1,030	1,154					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	後期高齢者医療制度のための関係業務事業に対して国庫補助することで、制度の円滑かつ健全な運営が可能となる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	後期高齢者医療サービスを効率的に実施するため国が実施すべき共通事業・共同事業に対して国庫補助している。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	後期高齢者医療の事務を効率的かつ円滑に実施していくために必要な事業であり、優先度は高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	後期高齢者医療制度を効率的かつ円滑に運営していくために、国保業務との関連性・類似性を踏まえつつ、統一的なシステムを構築可能な国保制度に精通している団体を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	システムのプログラム構成については、できる限り簡便かつ効率的なものになるよう外部のシステムコンサルタントによる検証を実施している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	国保中央会からの支出については、国保中央会の財務規定に基づき、適正かつ合理的に行われている。		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	保険者システムの改修や保守管理を統一的に実施することにより、経費の効率化を図るとともに、制度改正等における迅速な対応を可能としているところである。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	補助金の実績報告書で詳細を把握し、適切に運用されていることを確認している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	診療報酬の審査支払のための電算処理システムの改修や保守管理に要する補助であり、診療報酬の適切かつ迅速な支払に寄与している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・市町村と年金保険者との間で特別徴収に係る情報を国保連合会が一括で仲介することで、二者の情報連携の簡略化を図っており、また国保中央会が統一的なシステム開発等を行うことで、各広域連合の事務の効率化につながっている。制度運営の安定化や事務経費の効率化を図るため、引き続き国による支援は必要である。</p> <p>・平成24年度は第三者求償事業及び特別徴収経由事務に係る国保連合会からの申請額が予定を下回ったため不用額を出した(予定298百万円→実績162百万円)が、実績を踏まえ、業務量の精査やシステム開発項目の重点化等を検討する。</p>					
外部有識者の所見						
<p>執行率を勘案し予算額への反映が必要。(長崎、井出)</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>本事業については、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するため、事業に要する経費の一部について、補助するものであり、事業の必要性や執行の観点からの評価は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行及びコスト削減に努めるべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>システム開発項目の重点化を図り、経費の効率化を図ったこと等による削減。(反映額:▲103百万円)</p>					
備考						
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>						
	平成22年	249	平成23年	221	平成24年	188

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位: 百万
円)

A.国民健康保険中央会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託料	(株)日立製作所 広域連合電算処理システム改修等	680.9			
	(株)NTTデータ 後期高齢者医療レセプト電算処理システム				
	富士通(株) 後期高齢者医療請求支払システム改修等				
	(株)ウェイライズコーポレーション システムコンサルティング				
	日本電気(株) 年金特別徴収経由機関システム改修等				
	新日本有限責任監査法人 システムコンサルティング				
	富士ソフトサービスビューロ(株) 派遣職員経費				
	NTT東日本 データセンターハウジング				
	(株)NTT-ME オンライン請求システムサポートデスク運用				
	みずほ情報総研(株) 後期高齢者医療レセプト電算処理システム				
	(株)シーディーエス 薬価基準管理				
	国民健康保険団体連合会 連合会職員派遣料				
	沖電気工業(株) オンライン請求システム認証局ハードウェア				
	計			739.9	計
B.(株)日立製作所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
改修費	広域連合電算処理システム改修等	463			
計		463	計		0
C.島根県国民健康保険団体連合会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
負担金	国保中央会 特別徴収経由事務に係るシステム保守負担金	2.3			
	国保中央会 後期高齢者医療審査支払システムに係るシステム改修費				
委託料	(株)マツケイ 第三者求償事務に係るシステム改修費	2.27			
	日本電気(株)山陰支店 特別徴収経由事務に係るシステム保守料及びシステム運用経費				
給料	特別徴収経由事務に従事する職員1名に対する給料	2.18			
賃金	第三者求償事務に従事する嘱託職員1名に対する賃金	1.4			
共済費	第三者求償事務に従事する嘱託職員1名に対する社会保険料等	1.36			
役務費	第三者求償事務に係る通信運搬費	1.08			
	特別徴収経由事務に係るISDN回線使用料				
職員手当	特別徴収経由事務に従事する職員1名に対する手当	0.70			
需用費	第三者求償事務に係る傷病届作成料	0.06			
旅費	第三者求償事務に従事する嘱託職員1名に対する研修の参加旅費	0.03			
使用料及び賃借料	第三者求償事務に係るコピー使用料	0.0			
計		11.4	計		0
D.国保中央会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
負担金	後期高齢者医療審査支払システムに係る改修経費	1.9			
計		1.9	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国民健康保険中央会	高齢者医療制度の円滑な運営を図るための事業	740		

B.委託会社等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立製作所	広域連合電算処理システム改修等	462.5	随意契約	
2	(株)NTTデータ	後期高齢者医療レセプト電算処理改修等	120.3	随意契約	
3	富士通(株)	後期高齢者医療請求支払システム改修等	31.0	随意契約	
4	(株)ウェイライズコーポレーション	システムコンサルティング	25.2	随意契約	
5	日本電気(株)	年金特別徴収経由機関システム改修等	14.5	随意契約	
6	新日本有限責任監査法人	システムコンサルティング	7.0	随意契約	
7	富士ソフトサービスビューロ(株)	派遣職員経費	4.5	随意契約	
8	NTT東日本	データセンターハウジング	3.9	随意契約	
9	(株)NTT-ME	オンライン請求システムサポートデスク運用	3.4	随意契約	
10	みずほ情報総研(株)	後期高齢者医療レセプト電算処理システムマスタ管理等	2.5	随意契約	

C.国民健康保険団体連合会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	島根県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	11.4		
2	三重県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	11.1		
3	北海道国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	10.7		
4	鳥取県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	9.3		
5	青森県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	9.0		
6	熊本県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	8.7		
7	徳島県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	8.1		
8	宮城県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	7.5		
9	秋田県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	7.28		
10	福島県国民健康保険団体連合会	第三者求償事務、特別徴収経由事務及びレセプト処理システムの円滑な運営に係る事務等、後期高齢者医療に関する事務を効率的かつ円滑に実施するための事業	7.26		

D.委託会社等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国民健康保険中央会	システム保守管理経費及び後期高齢者医療レセプト電算処理システム等経費	2.30		
2	日本電気株式会社山陰支店	特別徴収経由事務に係るシステム保守料及びシステム運用経費	2.21	随意契約	
3	株式会社マツケイ	第三者求償事務に係るシステム経費	0.06	随意契約	

後期高齢者医療制度関係業務事業費補助金の事業概要

①国保連合会が実施する事業

1. 第三者求償事業（定額補助）
第三者求償事務専門員を設置し、保険給付とならない交通事故等、第三者行為に係る損害賠償金の徴収等を実施。
顧問弁護士を設置し、交通事故の過失割合の判断等損害賠償金の確定を円滑に実施。
2. 特別徴収情報経由事務関連事業（1/2補助）
保険料の特別徴収(年金天引き)に必要な情報授受の経由事務を実施。
3. レセプト電算処理システム推進事業（定額補助）
後期高齢者医療制度に係るレセプト電算処理システム及び診療報酬請求支払システムについて、法律改正等に伴うシステム改修を実施。

②国保中央会が実施する事業

1. レセプト電算処理システム推進事業（1/2補助）
各国保連合会に設置された後期高齢者医療制度に係るレセプト電算処理システム及び診療報酬請求支払システムについて、国保中央会が一元的に保守管理を実施。
2. 後期高齢者医療事業の効率化に関する事業
 - ・全国決済事業（1/3補助）
全国の各国保連合会の県外分診療報酬支払請求額を取りまとめ、各県ごとの請求額を相殺して決済を行う事業を実施。
 - ・特別徴収情報経由事務関連事業（1/2補助）
保険料の特別徴収(年金天引き)に必要な情報授受の経由事務を実施
 - ・職員研修事業（定額補助）
広域連合職員を対象とした業務別一般研修、広域連合職員及び市町村職員を対象とした窓口端末研修を実施。
 - ・後期高齢者医療制度の事務等に関する研究会を行う事業（定額補助）
国の委託により国保中央会が統一的に開発した、後期高齢者医療広域連合が業務に使用する電算処理システムについて、各広域連合のブロック別代表者等による研究会を設置し、改修事項等の検討を実施。
 - ・広域連合電算処理システムの保守管理事業（定額補助）
国からの委託事業として国保中央会が統一的に開発した広域連合電算処理システムの保守管理及び改修を実施。